

平成30年度

読書の旅へでかけよう！

学校司書おすすめの本（中学生向き）

「学校生活」



『Q→A』

草野たき／著

講談社 913

5人の中学3年生が、アンケート上で浮き彫りとなっていく目の前の大事なことについて真剣に考え、様々な悩みに立ち向かう、成長と青春の物語。



『キシヤツ』

小路幸也／著

河出書房新社 913

海岸線を走る一両だけの電車に乗って学校へと通う高校生たちが、ある日浜辺に見知らぬ赤いテントを発見する。友情、恋愛、家族、将来が描かれた成長の物語。

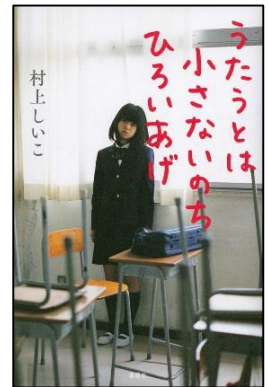


『伝説のエンドーくん』

まはら三桃／著

小学館 913

緑山中学校、伝説のエンドー君の落書きは皆の心を奮い立たせる。さて、その正体は…？先生方にもおすすめしたい、感動を共有してほしい一冊。



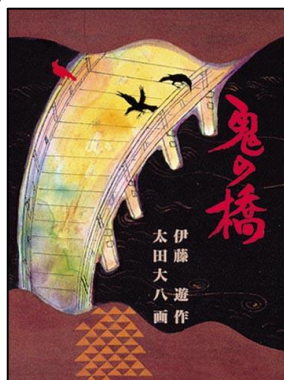
『うたうとは小さいのちひろいあげ』

村上しいこ／著

講談社 913

中学での事件を引きずる桃子は「うた部」（短歌の部活動）に入る。少しずつ心を開く桃子に不登校の親友綾美にも変化が。3部作の一冊目。

「ハラハラドキドキ」



『鬼の橋』

伊藤遊／著

福音館書店 913

妹を亡くし自暴自棄になった小野童は井戸を通して異世界に入り込む。黄泉と現世、2つの橋をめぐる物語。



『ボトルクリーク 絶体絶命』

ワット・キー／著 橋本恵／訳

あすなろ書房 933

巨大ハリケーン接近中に、川に流された13歳の少年コートと二人の少女。なんとかたどりついた古代遺跡は蛇であふれ、狂暴化した野生豚までが暴れ回っていた…。



『オリエント急行の殺人』

アガサ・クリスティー／著 山本やよい／訳

早川書房 933

オリエント急行で殺人事件が起きた。ポアロは犯人が乗客の中にいるとにらみ、調査を続ける。しかし、全員にアリバイがあり、解決の糸口は見つからない。



『月にハミング』

マイケル・モーパール／著 杉田七重／訳

小学館 933

大西洋の島へ流れ着いた記憶喪失の少女。発見した一家によって回復していくが、敵国ドイツ人だという噂が広まる。第一次世界大戦中の史実が基の感動作。

「文豪の世界」



『夏目漱石解体全書』

香日ゆら／著

河出書房新社 910

漱石の脳は保管されている！？真実は本の中に…。この一冊で漱石のすべてがわかる。漱石と関係のあった人をまとめた人物相関図も面白い。



『檸檬』

梶井基次郎／著

新潮社 913

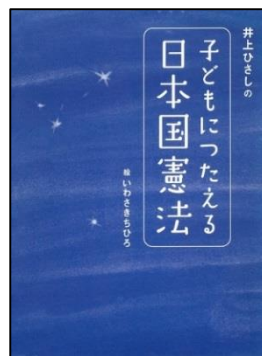
わずか31歳で生涯を閉じた作者の代表作。大正14年、梶井の病める精神と現実との格闘から生まれた古典的価値を持った近代文学。他19作品を収録。



『海辺の宝もの』

ヘレン・パッシュ／作 鳥見真生／訳
佐竹美保／絵
あすなろ書房 289

メアリーは小さな頃から「変わり石集め」が好きで、海辺で化石を拾っていた。12歳のときに恐竜の骨を発見するなど、考古学に貢献した。



『井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法』

井上ひさし／文 いわさきちひろ／絵

講談社 311

日本国憲法は、全103条からできている。この本では、その中の前文と9条をとりあげ、わかりやすく解説。



『16歳の語り部』

雁部那由多、津田穂乃果、相澤朱音／語り部
佐藤敏郎／監修
ポプラ社 369

東日本大震災当時、小学5年だった3人。「震災の話はしないように」という先生の言葉が彼らを縛り続けていた。5年の歳月を経て当時の状況を初めて語る。



『寿命図鑑』

やまぐちかおり／絵 いろは出版／編著

いろは出版 461

パンダの寿命ってどのくらい？アイスクリームは？生き物から食べ物までの寿命が紹介されている。そうだったのか！と納得することまちがいないし。

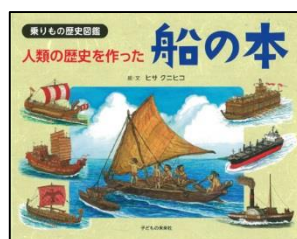


『イチョウの大冒険』

世界でいちばん古い木

アラン・セル／作 サウ／絵
松島京子／訳
富山房インターナショナル 478

イチョウは恐竜がいた頃にはすでに誕生し、この地球に根を下ろしていた。地球の環境の変化にも耐えながら生き続けている。



『乗りもの歴史図鑑』

人類の歴史を作った船の本

ヒサ クニヒロ／絵・文
子どもの未来社 550

船の歴史は古く、縄文時代までさかのぼる。人々は十分な海図も燃料もない時代になぜ、どのようにして海に出たのだろう。



『みずと海』

金子みずゞ／詩 尾崎眞吾／画

二玄社 911

著者の感性豊かな言葉、そしてそれに添えられた優しい絵がじんわり心にしみてくる。そばにおいて、ゆっくり眺めていたくなる一冊。



『エリカ 奇跡のいのち』

ルース・バンダー・ジー／文
ロバート・インフェンティ／絵
柳田邦男／訳
講談社 933

生まれて間もない赤ちゃんが、走る貨車から投げ捨てられた。死へと向かう貨車の中で、わが子を生かすためにできる、唯一の方法だった。

